

**現場に、障がい者を  
支えるリーダーを配置**

統括している山中さんのほか、それぞれ現場ではリーダーに任命されたスタッフが障がい者のサポートを行っています。普段の様子は私ではなかなか見ることができませんから、落ち込んでいたり、仕事でミスが続いたり、何か変わったことがあればすぐに報告するよう伝えていきます。ただ、あくまで窓口、バックアップという位置付けで、リーダーに負担がかかりすぎないように配慮しています。加えて、障がい者の様子を知るために役立っているのが日報。「前日の睡眠時間」「今日の調子」「仕事の出来」など障がい者一人ひとりに合わせた項目を



設定し、本人、同僚や上司、保護者がそれぞれ5段階で評価するというものがあります。何が原因でつまづいているのか改善するためにどうしたらいいのかを話し合い、自己分析と課題解決を促します。全体を俯瞰的に見る山中さん、現場で直接支えるリーダー。両者の連携が、障がい者の成長も後押ししています。

**大分の医療機関をつなげ、  
未来を拓く**

「よく医療機関での障がい者雇用は難しいといわれますが、そうとは思いません。仕事の切り出し、支援機関との連携など、やり方次第なんです。雇用前の実習で相性を見ることができると、障害者の雇用よりハードルが低い部分もあります。それを大分の医療機関に広めたい。障がい者雇用を行う医療機関が増え、つながり、悩みや課題を共有できれば、雇用の現場はもっと良くなると思うんです。そのために忙しい日々、合間を縫って、障がい者雇用に関する講演依頼を受けているという山中さん。実際、講演会をきっかけに雇用を始めた医療機関もあり、想いがカタチになる日はそう遠くないのかも知れません。

**自分の障がいを知り、  
可能性が広がった**



**加島さんの担当業務**

- 総務課の事務補助
  - 図書整理
  - リネン整理
  - デジタルサイネージ作成 など
- ここに入社するまでは自分の障がいを把握しておらず、普通の会社員として働いていました。ただ、何度転職しても長続きせず、何かあるのかと思いつつ受診したところ、ADHDと診断されたんです。すぐに大分障害者職業センターに相談して、2年間の訓練を受けた後、大分中村病院を紹介してもらいました。現在は、総務の事務補助を主に担当して



▲デジタルサイネージ

一番好きな作業は、病院1階に設置したデジタルサイネージ(電子看板)に流す画像の製作です。元々パソコン関係の仕事をしていたので得意な作業ですし、自分が見てもらえることにやりがいを感じています。今後はさらに自分にできることを探しながら、少しずつ仕事の幅を広げていきたいと思っています。



**特別支援  
学校**  
vol.5

**卒業後も豊かな人生を歩んでもりうために  
大分県立日出支援学校**

**細やかな面談で  
ミスマッチをなくす**

主知的障がいの子ともたちが通う日出支援学校には現在81名(うち高等部36名)の生徒が在籍。高等部卒業後は約3割が一般就労を果たしています。「卒業はゴールではありません。その先の人生の方がずっと長いので、ある意味スタートです。だからこそ希望、特性にマッチした道に進み、豊かな人生を歩めるよう、最大限に支援したいと思っています(進路支援主任の立山先生)。そのために1年次から担任、進路支援主任、シヨブ・コンダクター、保護者、本人の5者面談を実施。本人の気持ち、保護者の意向、生活面の課題などをすり合わせながら、ミスマッチのない実習先、就職先を決めるのだといえます。また、実習に際しては就労後を想定し、公共交通機関での通勤、グループホーム利用など生活面の訓練もしっかり行なっています。

**就職後も継続的な  
支援体制を構築**

実習を経て、就職が決まった後は移行支援会議を実施します。学校、就職先の企業、相談支援事業所、市町村の担当課、障がい者就業・生活支援センターなど就労後の支援を行う関係機関の担当者一堂に会し、就労後に予



▲左から進路支援主任の立山先生、坂本校長、シヨブ・コンダクターの大関さん。

想される課題などについて共通理解を深めながら、継続的な支援体制を構築します。生徒にとっても、受け入れる企業にとっても、これほど心強いことはありません。実習中はもちろん、就職後も3年間の追支援があるので心配はいりません。それでも不安がある場合は、ぜひ学校見学や、毎年10月に開催する事業主さんとの懇談会に来てください。実際に子どもたちを見れば障がいに対するイメージが大きく変わると思います(坂本校長)。

現在、実習受け入れ企業は約50社。シヨブ・コンダクター大関さんの活躍により、今も少しずつ増えています。生徒たちが就職した企業の写真を見せながら「ほら、こども、こどもでもうちの生徒が頑張っているんですよ。これからの子どもたちが根を張って花を咲かせられる就職先を開拓していきたい」と真剣に語る姿からは生徒を思う純粋な熱が伝わってきます。

〒879-1504  
速見郡日出町大字大分1618-1  
TEL.0977-72-2305



▲生徒たちは様々な企業で実習を行います。(左)繊維ロープの総合メーカー石田製網での実習風景。(右)智恵美人で有名な中野酒造での実習風景。

